

3類型	鉱工業品	通巻番号	6-20-049
地域資源名	ワイン	認定日	平成20年9月12日
地域	島根県雲南市	所管省庁	経済産業省・農林水産省・財務省

事業名：国内開発ブドウ品種「小公子」を使ったワインの改良・新規開発・販路拡大

会社名：有限会社奥出雲葡萄園

所在地：島根県雲南市木次町寺領2273-1

連絡先：TEL：0854-42-3480
FAX：0854-42-3487

H P：http://www.okuizumo.com

事業概要(新たな活用の視点)

- ・当社は1992年からヤマブドウ交配品種でワイン醸造を開始した後、欧州系専用品種での本格ワインの生産でワイン醸造技術を高めてきた。
- ・「シャルドネ」などの欧州系ブドウ品種が主体であるワイン業界において、他のワイナリーとの差別化を図るため、本事業にて、国内開発ブドウ品種「小公子」ぶどうを使ったワインを開発・販売をおこなう。具体的には既存商品であるスタンダードワインに加え、プレミアムワイン、デザートワイン、スパークリングワインを新規開発し、純国産にこだわったオリジナリティのある「小公子」ワインを確固たるブランドとして確立させていく。



売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・「小公子」ワインは、これまでの山ブドウ系品種にはない、エレガントな香りや味わいが魅力であり、純国産の原料で本格ワインという優位性がある。当社はこれまで「小公子」ワインの製品化に十数年の歳月を要しており、「小公子」ワインの醸造技術を蓄積している。

◆市場性

- ・ワインに対しての選定能力が高く、さまざまなワインに興味を示すワイン愛好家が増加していることを背景に、「小公子」ワインは国産にこだわったオリジナリティのある本格ワインとして十分なニーズがある。

◆販路

- ・従来の店頭販売・インターネット販売の販路拡大の他、ワイン専門店やこだわりのレストランなどへの展開が見込める。



地域資源における関係事業者との連携

- ・原材料の安定供給、地域の雇用拡大のために、農家と協調・連携し、当社のブドウ生産の技術を移転し、より多くの農家に生産委託していく。

